

## 仕様一覧

【オーディオ部】	
最大出力 .....	350W × 1
定格出力 (4 Ω) ノーマル .....	60W × 2 (20 Hz～20 kHz、0.08 % THD)
ブリッジ .....	150W × 1 (1 kHz、0.8 % THD)
(2 Ω) ノーマル .....	75W × 2 (1 kHz、0.8 % THD)
周波数特性 (+0、-1 dB).....	10 Hz ～ 45 kHz
S/N比.....	100 dB
入力感度 (定格出力).....	0.2 V ～ 5.0 V
入力インピーダンス .....	10 kΩ
ローパスフィルター .....	80 Hz (12 dB / oct.)
ハイパスフィルター .....	150 Hz (12 dB / oct.)

【電源部】	
電源電圧 (⊖アース) .....	14.4 V (11 ～ 16 V)
最大消費電流 (1 kHz、10 % THD) .....	19 A

【寸法・重量】	
外形寸法 (W × H × D) .....	228 × 59 × 228 mm
質量 (重さ).....	2.8 kg

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります	
---	--

## KENWOOD

株式会社 ケンウッド	
〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3	

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。カスタマーサポートセンター（東京） 電話(03)3477-2801 FAX(03)3477-5334 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9（大阪） 電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308 〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22 受付時間 9:00～18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。

## 警告

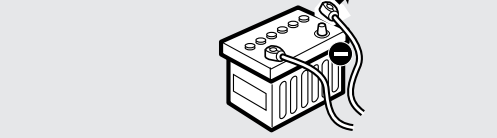
- 24V 禁止**

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V・アース車専用です。



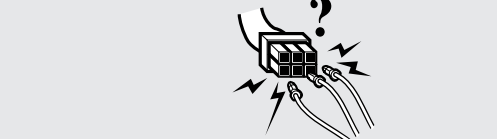
- 実施**

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



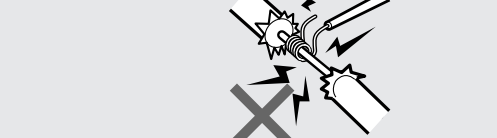
- 実施**

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



- 禁止**

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



- 注意**

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

- 禁止**

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故や怪我の原因となります。



- 禁止**

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



- 実施**

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



- 注意**

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。

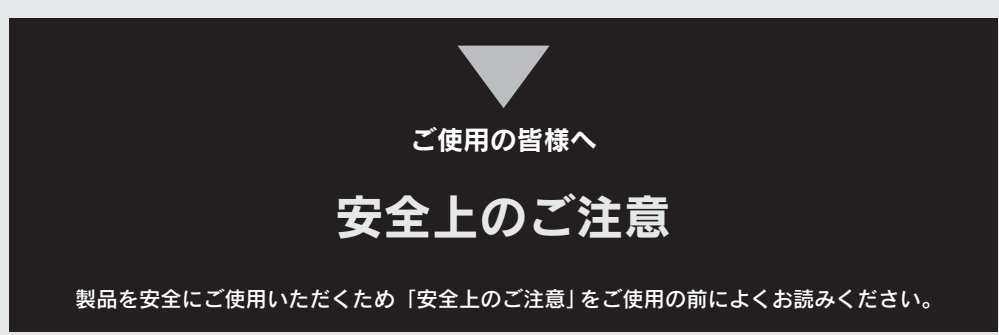


- 禁止**

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。

## KENWOOD

<p>パワーアンプ</p> <h1>KAC-6201</h1> <h2>取扱説明書</h2>	<p>お買い上げいただきましてありがとうございました。本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。</p> <p>株式会社 ケンウッド KENWOOD CORPORATION © B64-2563-00/00 (JV)</p>
--	--



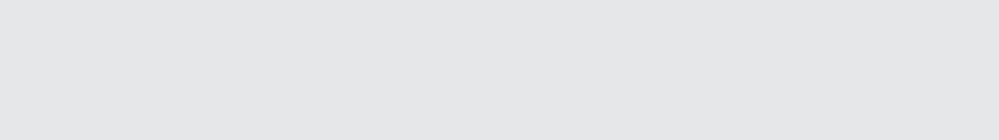
製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について：この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。
<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。	<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。
<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。
<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。
<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。
<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

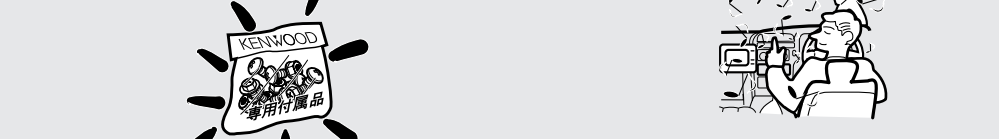
お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。



お買い上げの際は、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。

- 実施**

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



- 実施**

事故防止のため、ネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

- 実施**

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウインカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。

- 実施**

カーオーディオ製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

- 実施**

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。
  - 音量調節などのカーオーディオの操作



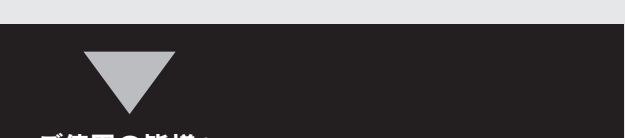
- 注意**

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、

### 安全上のご注意

お買い上げいただきましてありがとうございました。本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド KENWOOD CORPORATION  
© B64-2563-00/00 (JV)



製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について：この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

**警告**

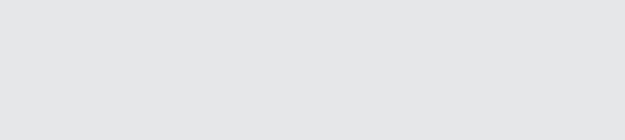
- △ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。

- 注意**
  - 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

- 禁止**
  - ⊖ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

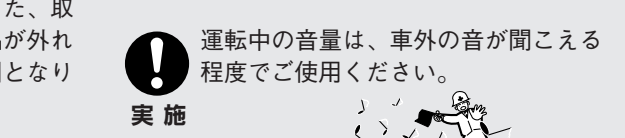
- 実施**
  - ⊕ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。

△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

- 禁止**
  - ⊖ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



- 実施**
  - ⊕ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。

- 禁止**
  - ⊖ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

- 注意**

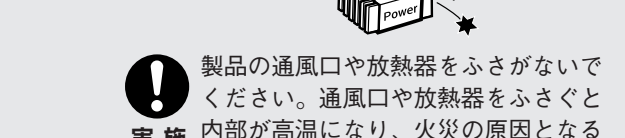
カーオーディオ製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

- 実施**

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。
  - 音量調節などのカーオーディオの操作

- 禁止**

パワーアンプの使用中は、表面の放熱部分に触れないでください。



- 実施**

製品の通風口や放熱器をふさがないでください。通風口や放熱器をふさぐと内部が高温になり、火災の原因となります。

- 禁止**

製品は、車載用として以外の用途では使用しないでください。

## 使用上のご注意

- 電源について**

本機の電源はDC12V・マイナス接地となっています。これ以外の電源とは接続しないでください。

- 本機をご使用中は**

本機の使用中はセット表面温度が高くなり、不用意に触ると火傷をすることもありますのでご注意ください。

- システムを接続するときは**

組み合わせるシステムに合わせて本機の入力感度調整（INPUT SENSITIVITY）つまみを調整してください。

ケンウッド製以外のシステムに接続すると電源のオン/オフができないことがあります。正常に動作することを確認してください。

- RCAケーブルについて**

RCAケーブルの配線は、雑音発生源となる車両側電装品やハーネスなどの近くは避けて配線してください。雑音が気になるときは2重シールドのRCAケーブル（別売品）をご使用ください。

- ヒューズが切れたときは**

ヒューズが切れたときは、各コードがショートしていないことを確認して、もとのヒューズと同じ容量の新しいヒューズと交換してください。（25A × 1）指定以上の容量のヒューズを使用すると、火災などの事故につながりますのでご注意ください。

- セットのお手入れについて**

本機の表面・パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。固い布やシンナー、アルコールなど揮発性のもので拭きますと、傷がついたり文字が消えたりすることがありますのでご注意ください。

- セットの異常にお気づきのときは**

万一セットの異常にお気づきのときは、バッテリーから本機のマイナス配線を外し、そのままの状態でご確認ください。



万一セットの異常にお気づきのときは、バッテリーから本機のマイナス配線を外し、そのままの状態でご確認ください。



### 電源の接続について

電源コードは、接続するユニットの最大消費電流を十分に流せるものを使用してください。細いコードを使用すると火災などの事故につながりますのでご注意ください。別売の電源チューンアップケーブルを使用しバッテリーから直接接続してください。電装用のバッテリーコードに接続すると車両のヒューズが切れる原因になります。

- エンジンをかけて“ヒューン”という雑音が発生するときは、別売のラインノイズフィルター（CN-610、CN-200）を電源コード間に接続してください。
- クロメットを使用して、コードが板金のエッジに触れないようにしてください。
- アースコードはバッテリーのマイナスと導通している車両の金属部分に接続してください。アースが確実に接続されていないときは、電源が入りません。
- 電源コードには、バッテリーの近くに保護用ヒューズを必ず取り付けてください。保護用ヒューズの容量は、本機のヒューズ容量と同じか若干大きい容量を使用してください。
- 電源コードやアースコードは、車載用（難燃性）の電源配線コードで、本機のヒューズ容量より大きい電流容量を使用してください。（電源配線コードは断面積 3 mm<sup>2</sup>（AWG 12 / AVS 3）以上を使用してください。）
- パワーアンプを数台使用する場合は、電源配線コードや保護用ヒューズの電流容量が各アンプの最大消費電流の合計電流より大きいものを使用してください。

- 接続するスピーカーについて**

接続するスピーカーの定格入力は、本機の最大出力（ワット数）より大きいものを使用してください。スピーカーの入力が本機の出力より小さいと発煙、故障の原因になります。

- 接続するスピーカーについて**

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。



接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。

接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上（ステレオ接続時）または、4Ω以上（ブリッジ接続時）を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続してください。



# 操作方法

## ② オペレーション

- 増幅する入力信号を切り替えます。
- ▶ **STEREO** ポジション  
左右の信号を個別に増幅します。ステレオアンプとして使用します。
  - ▶ **L+R** ポジション  
左右の信号をミックスして増幅します。モノラルアンプとして使用します。
  - ▶ **MONO(Lch)** ポジション  
左側の信号のみ増幅します。モノラルアンプとして使用します。

## ① フィルター

- 出力する周波数を設定します。
- ▶ **OFF** ポジション  
全帯域を出力します。
  - ▶ **LPF(ローパスフィルター)** ポジション  
80 Hzより低い周波数のみを出力します。出力が自動的にモノラル(左右ミックス)音になります。
  - ▶ **HPF(ハイパスフィルター)** ポジション  
150 Hzより高い周波数のみを出力します。

## ③ 入力感度調整

- 接続するセンターユニットのプリアウトレベル、または、純正カーステレオの最大出力に合わせて調整します。
- プリアウトの出力電圧及び、スピーカー出力のワット数から「③入力感度調整」を目安に設定してください。

MEMO ▶ プリアウトレベル/最大出力はセンターユニット/カーステレオの取扱説明書の「仕様一覧」のページを参照してください。

## 電源関係

- ▶ ① ヒューズ 25 A × 1
- ▶ ② バッテリー電源端子
- ▶ ③ アース端子
- ▶ ④ パワーコントロール端子

MEMO ▶ 電源端子には端子カバーを被せてください。指定容量のヒューズが販売店などで見つからない場合は、ケンウッドサービスセンター・営業所へご連絡ください。

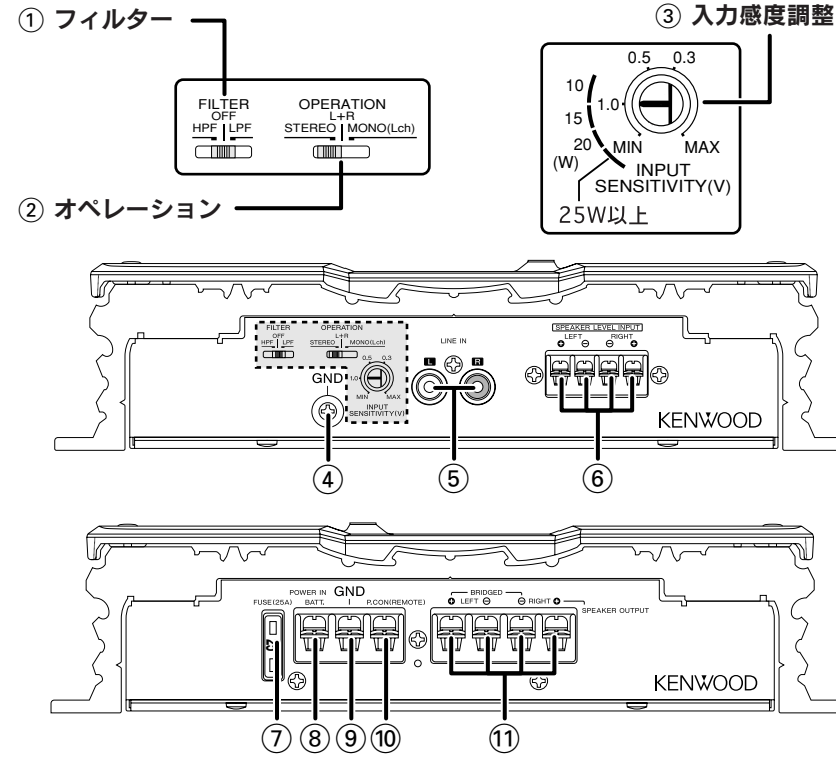
## 入力関係

- ▶ ⑤ スピーカー入力端子  
純正ステレオの最大出力が40Wまで入力できます。
- ▶ ⑥ ライン入力端子
- ▶ ⑦ RCAケーブル用アース端子  
アースリード付きのRCAケーブルを使用するときにアースリード線を接続します。

MEMO ▶ スピーカー入力端子とライン入力端子を同時に接続しないでください。

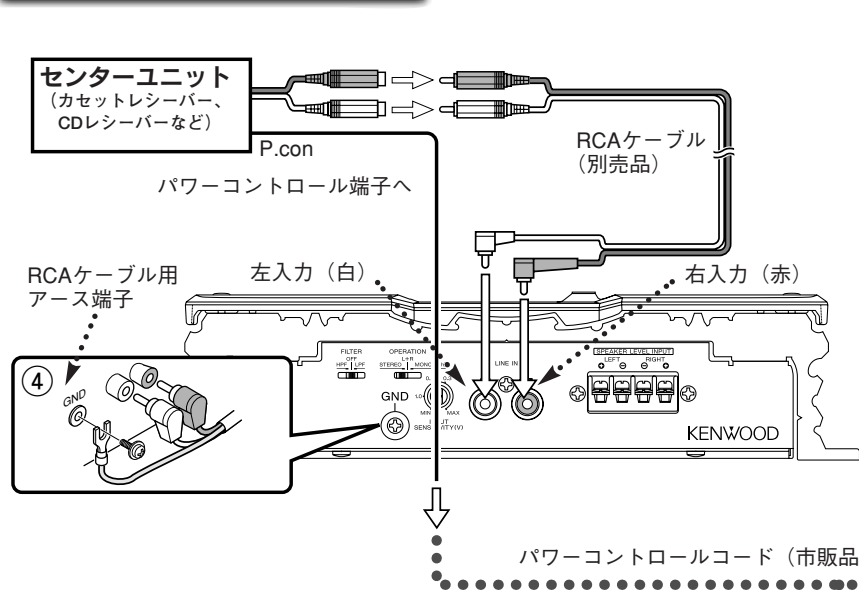
## ① スピーカー出力端子

- ▶ **ステレオ接続**  
ステレオアンプとして使用したいときは、ステレオ接続にします。スピーカーのインピーダンスが2Ω以上に対応します。
- ▶ **ブリッジ接続**  
大出力のモノラルアンプとして使用したいときは、ブリッジ接続にします。(スピーカー出力端子のLch④とRch⑤端子に接続します。)スピーカーのインピーダンスが4Ω以上に対応します。

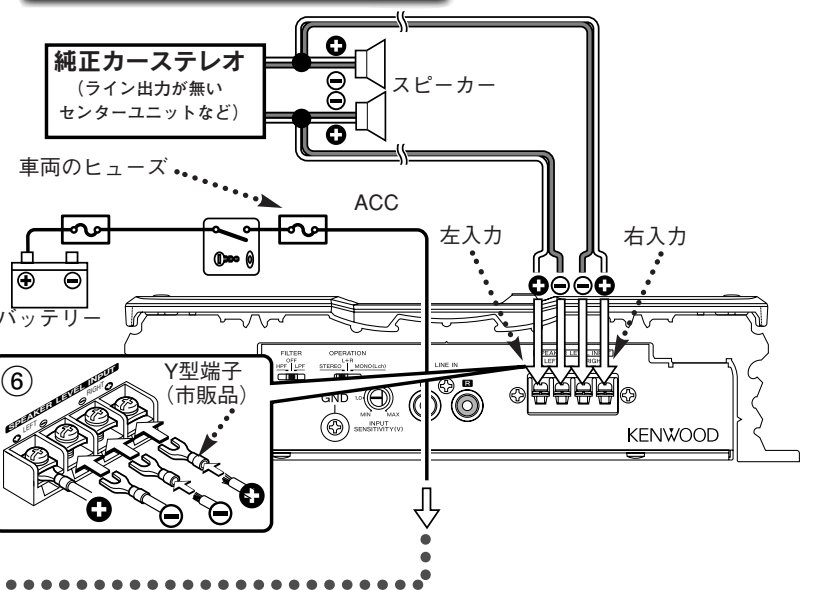


# 接続のしかた

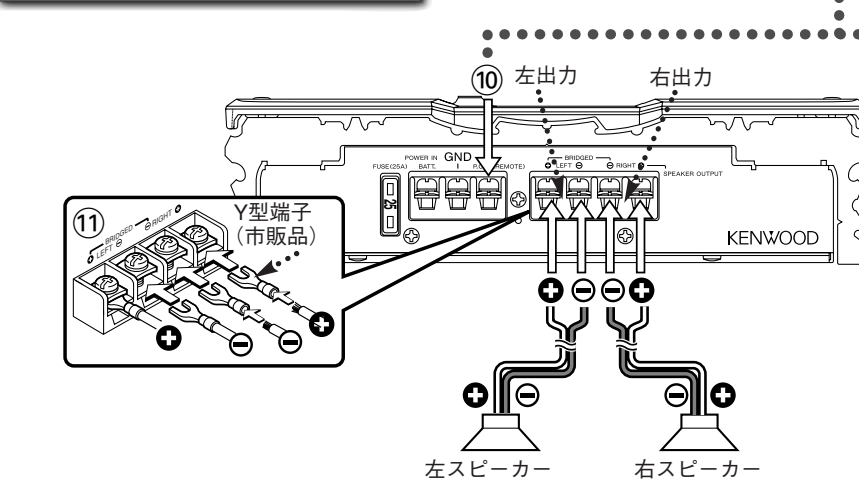
## ライン(RCA)入力の接続



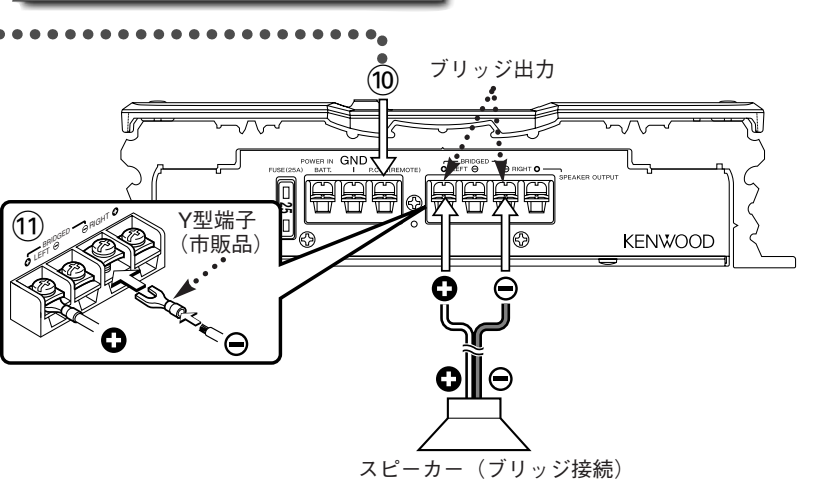
## スピーカーレベル入力の接続



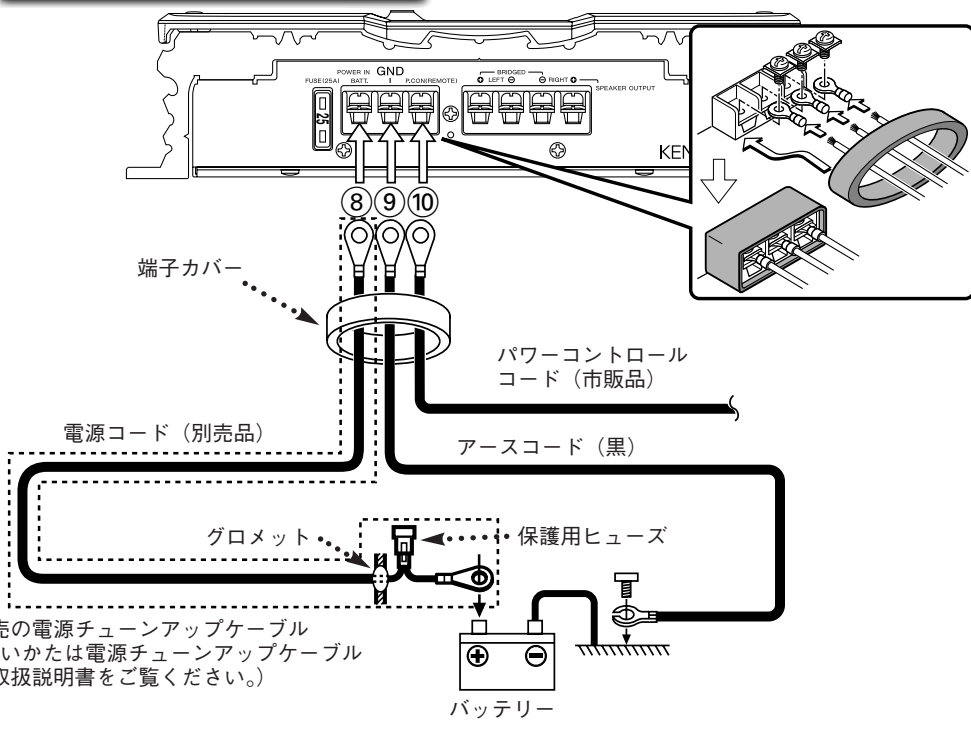
## スピーカーのステレオ接続



## スピーカーのブリッジ接続



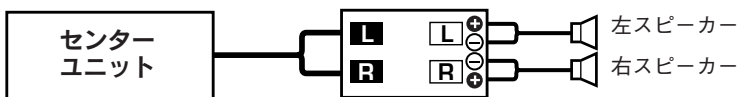
## 電源の接続



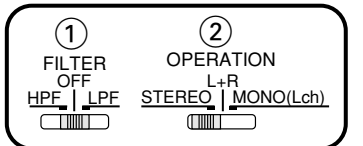
電源端子 付属の端子カバーに通した電源コード、アースコード、パワーコントロールコードを、それぞれの端子に接続します。接続が終わったら端子部に端子カバーをかけます。

# システム例

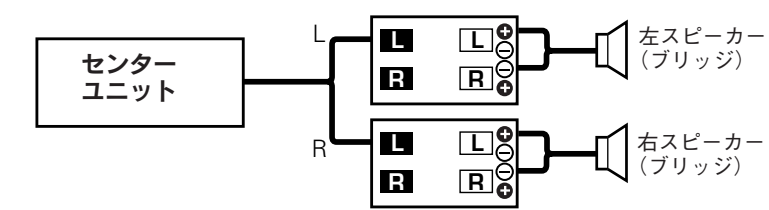
## 2チャンネル システム



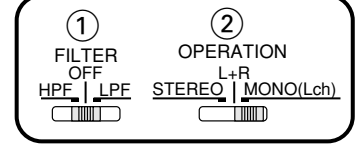
### スイッチ設定



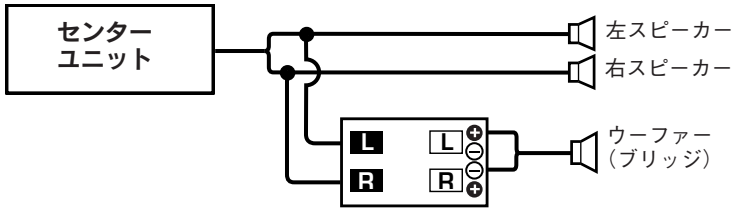
## ハイパワー2チャンネル システム



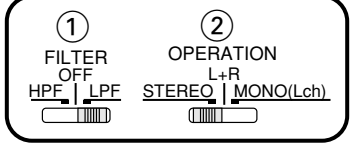
### スイッチ設定



## サブウーファー システム



### スイッチ設定



# 取り付けかた

## 付属品

外形	部品名 × 数量	タッピングネジ (ø4 × 16mm) × 4	端子カバー (電源端子用) × 1
	アースコード (黒) (1m) × 1		

## 取り付けかた

パワーアンプには頻繁に操作する部分が多く、運転席から離れた所に取り付けても支障ありません。一般的な取り付け場所としてはトランクルームが適しています。

タッピングネジ (ø4 × 16mm)

取り付け板など (厚さ: 15 mm 以上)

# 故障かな?と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障と思われることがあります。修理を依頼されるまえに、下記のようなチェックを行ってください。

こんなとき	どうして	こうします
音が出ない (片側の音が出ない) (フツフツ音がし、正常に音が出ない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 入出力ケーブルが外れている。</li> <li>• プロテクション機能が働いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 入出力ケーブルの接続を確認してください。</li> <li>• “プロテクション機能”を参照して接続を確認してください。</li> </ul>
(ヒューズが切れている)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 音量が大きすぎた。</li> <li>• スピーカーコードがショートした。</li> <li>• スピーカーの許容入力小さくてスピーカーが破損した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ヒューズを交換し、音量を少し小さくしてください。</li> <li>• スピーカーコードを確認しショート原因を取り除いてから、ヒューズを交換して使用してください。</li> <li>• [接続するスピーカーについて]を参照し、スピーカーとヒューズを交換してください。</li> </ul>
音が小さい (大きい)	入力感度調整つまみが正しく設定されていない。	“設定方法”を参照して正しく設定してください。
音質が悪い (音が歪む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スピーカーコードの⓪/Ⓛが正しく接続されていない。</li> <li>• スピーカーコードが車両のネジにかみ込んでいる。</li> <li>• 切り替えスイッチの設定が間違えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スピーカーコードと端子の極性を正しく接続してください。</li> <li>• スピーカーコードの配線を確認してください。</li> <li>• “操作方法” “システム例”を参照して正しく設定してください。</li> </ul>